

三次市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和2年8月26日(水)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 4時30分

- 2 会 場 三次市役所本館 6階 602会議室

- 3 出席委員 教 育 長 松 村 智 由
委 員 小 根 森 直 子
委 員 深 水 顕 真
委 員 井 岡 直 美
委 員 藤 井 皇 治 郎

- 4 出席職員 教育委員会事務局付課長 赤 木 実
教育総務係長 伊 藤 浩 司

- 5 参 考 人 三次市教科用図書採択地区選定委員

- 6 議事日程
 - (1) 議案第24号 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について(非公開)
 - (2) 議案第25号 令和3年度使用特別支援学級の教科用図書の採択について(非公開)

教育総務係長 ただいまから教育委員会会議を開会する。教育長の報告をお願いします。

松村教育長 本日は、来年度使用する中学校の教科書の採択について、選定委員から報告を受け、協議をする。なお、通常学級で使用する教科書と特別支援学級で使用するものもあるので説明を聞きながら質問をお願いします。それぞれの委員の意見を出してもらい、三次の子どもたちにとってよい教科書を採択できるよう考えていきたい。

教育総務係長 それでは、以降の進行を教育長にお願いします。

松村教育長 これから議事に移るが、本日の議題のうち、議案第24号及び第25号については教科書採択に係る案件のため、公開になじまないものと判断する。については三次市教育委員会会議規則第16条第1項により非公開にしたいと思うので皆さんにお諮りする。異議はないか。

委員一同 一異議なし

松村教育長 議案第24号及び第25号については非公開とする。それでは、議案第24号について事務局からの説明を求める。

教育委員会事務局課長 それでは、議案第24号について行う。これは、令和3年度に三次市内の中学校で使用する教科用図書について、選定委員からの答申を受けて審議し、採択するものである。選定委員会は、「三次市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約」に基づき、調査員による教科書の専門的な調査研究を基に種目ごとに審議を行い、その結果について理由を付して答申を行う。これを受け、適正かつ公正な採択を行うものである。審議に入る前に、三次市教科用図書採択地区選定委員会の会長から、令和3年度三次市教科用図書採択地区の教科用図書の採択に係る意見についての答申書を教育長に手交していただく。

<選定委員会会長から松村教育長に手交>

教育委員会事務局課長 本日の資料を確認する。教科書採択に関する経過報告、令和3年度使用中学校用教科用図書答申、各教科の目標、令和2年度使用中学校教科用図書の採択結果等について、三次市教科用図書採択地区調査研究報告書、展示会アンケート、説明スケジュール、広島県選定資料となっている。なお、展示会アンケートは、教科書展示会に来られた市民の方からの意見が書かれているので参考にしていきたい。

松村教育長 それでは、令和3年度使用三次市教科用図書採択地区教科書採択について選定委員会会長から経過報告の説明をお願いします。

選定委員会会長 資料1をご覧いただきたい。5月25日に教育委員会会議で「令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の三次市採択基本方針」を決定され、6月8日に三次市教科用図書採択地区選定委員会の選定委員に委嘱された。6月12日から6月27日まで、三次市立図書館で展示会を行った。

三次市教科用図書採択地区の教科書調査員は、7月20日を期限として報告書を提出した。調査員によって調査されたものを第2回選定委員会で報告を受け、第3回選定委員会で答申を作成した。今後、県、学校へ採択結果を通知していく。

松村教育長 続けて答申説明をお願いします。

選定委員会会長 広島県の選定資料をご覧いただきたい。1ページにある5点の観点だが、観点1「基礎・基本の定着」、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、観点3「内容の構成・配列・分量」、観点4「内容の表現・表記」、観点5「言語活動の充実」で調査されたものを選定委員会で協議し、結果を答申させていただいている。教科用図書調査のため、見本本の送付を依頼したが、送付されなかった出版社もあり、その出版社については、答申でも斜線を引いている。今回の選定においては、三次市の生徒の実態、課題に応じた教科書はどれであるかということを前提にして審議を進めた。答申のポイントとして3点ある。1点目は、三次市の生徒実態にあった教科書であるかという点である。学力の状況は2極化傾向にあり、個人差への対応が必要である。基礎・基本の定着を図る工夫がされているか。学力をさらに伸ばす取組として、自主的、自発的な学習が促される工夫がされているかという点。2点目は、新学習指導要領で求められていることに沿った教科書であるかという点である。新学習指導要領では、資質・能力の育成のために、各教科等の目標が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力」の3つの柱で整理された。その3つの力を育成できる教科書であるか。また、各教科の見方・考え方が明示されているかという点である。3点目は、三次市の施策と合っているか。例えば、「三次市子どもの未来応援宣言」との兼ね合いはどうか。ICT教育の推進につながるものであるか。グローバル社会への対応、小中一貫教育の推進という点で、小学校からの接続は意識されているか等を検討した。

松村教育長 それでは、議案第24号、令和3年度中学校使用教科用図書の採択について、各教科の採択を行っていく。まず、国語・書写から説明をお願いします。

選定委員 一国語・書写についての説明—

松村教育長 説明を聞き、質問はあるか。また、意見があればお願いします。

深水委員 グラフのよみとりについて、■■■■の1年生は簡単な印象を受けた。棒グラフのよみ方は比較だと思う。1つのグラフだけだと特徴が見えてこない印象がある。グラフに関していえば、■■■■が詳しいと思う。その部分の比較はどうか。

選定委員 子どもたちの自学自習で扱う場合は、■■■■の方が使いやすい。委員がおっしゃるように2つの表や資料を比較することは小学校でも主流となっている。グラフの読み取りの部分では、■■■■の方が、質が高い。

小根森委員 三次市の子どもは漢字が課題ということだったが、新出漢字がどのように記述されているのか確認した。■■■■は、音読み、訓読みなどいろいろな読み方が紹介され、■■■■は、内容に関する読み方だけであった。そっちの方がよいのか。

選定委員 実際に授業で教える際は、内容に出てくる読みで教える。それ以外の読み等については、ドリル学習等でおさえしていくので、どちらでもよいと思う。

小根森委員 新出の言葉の説明は■■■■の方が詳しくてよい。自学自習の面では、■■■■の方がよいのではないかと思う。

選定委員 主体的な学びという視点が、今回の新学習指導要領のポイントとなっている。それに加え、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休校のときに、多くの学校で予習としての課題を出した。そのことも踏まえて、■■■■が使いやすいという調査結果となった。

松村教育長 この度の新型コロナウイルス感染症防止に向けた臨時休業を受け、大切なのは一人で学べることであると感じた。理解がしやすい、読んでみたいと思えるという視点も大切だと感じた。

井岡委員 読書に関して書籍紹介が気になった。現在の子どもたちは読書量が少ないと言われている。その中で、中学生はどんな本に興味を持つのだろうと思った。掲載の量は■■■■が363冊と多く、次が■■■■であった。紹介の仕方を比較したとき、■■■■の方がおもしろく感じた。書写については、2年生から行書が始まるが、穂先が大切である。そのため手本の大きさが大切であり、■■■■がわかりやすい。

松村教育長 手本の大きさで言えば、原寸大の手本もある。

井岡委員 原寸大の見本でよいのは、■■■■であり、■■■■はQRコードを読み取ること

で手本を見ることができるのでよい。

松村教育長 QRコードがあり、手本の動画が見られるということはよいことである。

井岡委員 NHKの番組でも習字に関してやっているが、子どもたちにとっては書き方を動画で確認するのはよいことである。

藤井委員 グラフの読み取りが国語にもあることに驚いた。グラフの読み取りは数学や理科や社会でするイメージがあった。国語でも必要なのだと感じた。

松村教育長 グラフに関しての意見も出たが、国語は社会や理科など各教科の基礎となるものだと感じた。見たものを表現したり、まとめたりしていく力も大切であると感じた。

松村教育長 ほかに質問がなければ、国語については、■■■■がもっとも評価が高かったが、■■■■でよいか。

委員一同 一承認一

松村教育長 書写については、■■■■がもっとも評価が高かったが、■■■■でよいか。

委員一同 一承認一

松村教育長 続いて、社会の地理的分野、歴史的分野、公民的分野、そして、地図についての説明をお願いします。

選定委員 一社会（地理・歴史・公民）・地図についての説明一

松村教育長 まず、地図の教科書について、質問、意見があればお願いします。

松村教育長 ■■■■の地図は、アパラチア山脈の部分に日本地図が重ねてあり、大きさを比較することができる。社会が苦手な子へはよいと思う。

小根森委員 説明にあったように様々な視点から■■■■がよいと思う。

井岡委員 同じである。

藤井委員 ■■■■がわかりやすい。

松村教育長 他に意見等なければ、みなさんの意見をまとめ、■■■■でよいか。

委員一同 一承認一

松村教育長 それでは社会の地理的分野について、質問や意見はないか。

小根森委員 ■■■■は内容が豊富でよいが、色が薄いように感じる。その分、■■■■は色ははっきりしていてとてもインパクトがあってよい。

深水委員 地理の教科書を比較すると、違いが明確であった。■■■■は、日本とのつながり、私たちとのつながりが書かれていて非常にわかりやすい。

松村教育長 説明にもあったようにUDフォントが使われた教科書が多い。子どもたちが見てみたいと思える教科書がいいと思う。それでは他になれば、皆さんの意見のとおり、社会科の地理的分野は■■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 次に歴史的分野について、質問や意見はないか。

小根森委員 2点ある。■■■■も■■■■もすべてのページに年表がついている。■■■■はページの下に年表がついており、どこのことを言っているのかわかりづらい部分がある。■■■■については横に年表がついており、わかりやすい。また、学習課題が書かれているが、■■■■は「どのようにしたのでしょうか、どんな特徴があるのでしょうか」とある。■■■■は、これに対してもう少し具体的に例えば、「応仁の乱でどのような力をつけたのか」のように、具体的に考えやすい質問のように感じた。

松村教育長 現在、年表の示し方、課題の示し方については大切な視点だと思う。そのほかの意見はどうか。

深水委員 内容的な部分はいろいろな意見に分かれるところだと思う。それぞれの教科書を読んでいく中で、気になったのは、■■■■の200ページの「日本の植民地」について、「南樺太は日本の植民地」という記述がある。ここは意見が分かれるところだと思う。これをもとに植民地について読み進めていくと、一番バランスのとれた記述がされているのが■■■■であった。ただ、■■■■について1つ気になるのは、最後の索引291ページから「植民地」を調べると、156ページを確認するように示してある。そこには、「植民地」は本文の中に書いてあるだけであり、そこからさらに98ページを確認するように示され、そこで初めて解説が書いてある。この部分は少し紛らわしく感じた。ただ、報告にもあったように、■■■■の最初のイラストなどは、生徒の興味をひくものであり、とてもよいと思う。

松村教育長 言葉についての意見が出たが、今あったように、わかりやすく示す必要も大切だと思う。

井岡委員 先ほども写真や色目についての意見が出ていたと思うが、元禄文化についての尾形光琳の写真について、■■■■の132ページと■■■■の131ページ比較して、■■■■の色目が実物に近く感じた。これは一例であるが、他の

作品を見ても■■■■の写真や色目がきれいであり、実物に近くすることは大切だと感じる。

藤井委員 ■■■■の横にある年表は、自分がどの時代を学習しているのかわかりやすく、見やすいと感じた。

松村教育長 家庭学習にあったもの、自分で学習できるものを採択していく必要がある。また、今回出たように実物に近い色合いも必要であると思う。それでは、意見のとおり、社会科の歴史的分野は■■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 次に公民的分野について、質問や意見はないか。

深水委員 ■■■■が一番分かりやすいと思った。憲法の制定過程について、■■■■が分かりやすい。GHQとの関係をどう書くかがあるが、一番バランスの取れた書き方がされている印象だった。

松村教育長 内容的なところは政治的なことであり、分かりやすさの視点で見てもうことはよいと思う。

深水委員 ■■■■は、36ページの日本国憲法と大日本帝国憲法との比較が、とても分かりやすいと思った。

松村教育長 視点をもって比較するというのは良いことである。

小根森委員 ■■■■は小学校との関連が示されており、つながりが分かりやすい。また、■■■■が考えさせる部分が多いと感じた。

松村教育長 具体的には。提示の仕方か。

小根森委員 問題提示の仕方や吹き出しなどである。

井岡委員 「地方自治と私たち」の部分について、子どもたちが政治について興味を持ち、政治に参加したい気持ちをもってほしいと思った。■■■■の122ページの「S市の市長になって条例をつくろう」はおもしろいと思った。

小根森委員 まとめのところで、■■■■は189ページにレポート作成について提示がある。この部分はとてもよいと思う。

松村教育長 現在、書くことが重要となっているが、これまではレポートの書き方の具体を学ぶことはなかった。以前は、大学で学んでいたことだと思うが、今は中学校から教えていくことが重要だと思う。

松村教育長 表現する力を育てる視点での工夫点はあったか。

選定委員 ■■■は、目的に応じて適切に表現する力を育てるために、スモールステップで思考力・判断力・表現力をはたらかせ、まとめていけるように工夫がされている。

藤井委員 ■■■と■■■は、教科書の構成が統一されており、ずっと同じように表現されていて、見やすい。他社もうまく構成されているが、この2社はイラストの位置や写真の位置など一貫性があり、流れが追いやすいように思う。

松村教育長 内容的な部分や構成などの意見が活発に出てきており、各社の特徴や良さをしっかりと議論できたと思う。その中で、特に「社会的な見方・考え方」を通して思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がされていたのは■■■ではないかと思う。よって、社会科の公民的分野は■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 教科書にはそれぞれ指導していく上でよいところがたくさんある。調査研究をしていく上で、より子どもたちによいものを使っていくことが大切であり、引き続き、いろいろな視点から意見をいただきたい。

松村教育長 それでは、数学について説明をお願いします。

選定委員 ー数学についての説明ー

松村教育長 それでは数学について質問や意見をお願いします。

松村教育長 小学校は今、■■■を使っているのか。

選定委員 今は、■■■を使っている。

小根森委員 ■■■だったことがあるのか。■■■は難しいというイメージがある。

深水委員 いろいろ見比べたところ、■■■は練習問題が多いと思うが、そのあたりはどう思うか。

選定委員 量的な部分でいえば、■■■が多い。ただ、質的な部分でいえば、基礎的な問題や発展的な問題、そして探究的な問題が整理されて、三次市の生徒の実態に合わせると、基礎的な問題が適量の方が良い。基礎的なことを押さえた問題についていえば、どの会社もさほど差はない。

松村教育長 三次市ではタブレット端末を、児童生徒に一人一台整備していく。タブレット端末から学習ドリル等を活用し、子どもたちが自分のレベルにあった問題にチャレンジすることができるよう考えている。そのため、問題を補っていくという視点では大丈夫だと思う。説明があったように、基礎的な

ところをしっかりと補っていくことは重要だと思う。

小根森委員 ■■■ は、課題について簡単な問題でおさえであり、言葉での説明もあり、言語的な説明ができるようになっている。これは自学を行うのにやりやすい教科書だと思う。

松村教育長 罫線が入ったもののようにノートに似せた書き方もわかりやすい。

井岡委員 ■■■ は、分かりやすく、すべての子どもに使いやすいのではないかと。数学が苦手だという子どもも、学びやすいように感じる。他社と比較しても単元の導入の方がわかりやすい。

藤井委員 ■■■ は例題の部分が親しみやすい。

松村教育長 ■■■ で扱われているものは日常生活と関連付け、どんな使われ方をしていっているのかがわかりやすく、日常生活の中の数学を見つけられるようになっている。よって、数学科は■■■ でよいか。

委員一同 一承認一

松村教育長 それでは、理科について説明をお願いします。

選定委員 一理科についての説明一

松村教育長 ■■■ は、説明にあったように実験の手順で気を付けるべき点がしっかり書かれており、実際に実験を行う際に事故なく安全に実験を行うためにはよいと思う。これまで以上に力を入れているように感じた。

深水委員 コラムは大切だと思う。専門的なことに特化している中、興味をもたせることが大切である。説明にあったようにコラムの数では■■■が多かったが、■■■のコラムは関連項目となっている。■■■は、少し内容を変えており、興味をひくという視点では■■■がよく、おもしろいと感じた。

小根森委員 最初に見たとき、■■■は写真の鮮やかさを感じ、子どもたちが興味をもって調べたいと思うものであると感じた。また、お料理ラボやお仕事ラボなど視点がおもしろい。子どもの興味に沿った視点だと思う。

井岡委員 説明のとおり高校とのつながりがあり、大変興味がある。小中の関連も含め、先に進んだときやむしろふり返るときに使いやすいと思う。

松村教育長 学習内容が高校へつながっていくという書き方は、今までなかった。これから発展していくというのがわかりやすい。

藤井委員 これまでに出ているように■■■は、高校への軌跡が説明してあることが

とてもよい。また、縦長の教科書は見にくく感じ、■のような四角い方が見やすく感じる。

松村教育長 みなさんから様々な意見が出たが、■の評価が高かった。よって、理科は■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 音楽は、音楽一般と器楽の2種類ある。それでは、それぞれの説明をお願いする。

選定委員 ー音楽（一般）・音楽（器楽）についての説明ー

松村教育長 音楽はそれぞれ2社ある。意見や質問はあるか。

小根森委員 説明のとおり、特に歌唱指導の場面で■は、特にイメージがふくらむ書き方になっている。箏の演奏法にしても、■の書き方は堅く、■の方は、分かりやすく書かれている。

松村教育長 親しみやすさ、専門的に見て分かりやすいものであることも大切である。

井岡委員 マイボイスの変声期の部分では2社は全然違うと思う。器楽でもアルトリコーダーの説明が分かりやすく書かれていた。箏は断然、■がよい。子どもたちに合うように段階を追って練習できるようになっている。また、和音を使って作る説明がおもしろい。

松村教育長 箏について■は40、41ページ、■は36、37ページだが、■の説明が丁寧である。写真だけで印象が変わってくることを、比較して初めて分かった。

深水委員 箏については深い部分があり、■の47ページに手の動かし方が書かれており、詳しくておもしろいと思った。

藤井委員 ■の方が全体的に丁寧に書いてあるように感じた。どちらも日本の民謡について地図があるが、■の方が詳しく説明があり、分かりやすい。

松村教育長 2社を比較していく中で、説明や意見を聞く中で、■の方が分かりやすいという意見が多かった。音楽の一般は、■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 同じように器楽についても■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、美術についての説明をお願いする。

選定委員 —美術についての説明—

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

小根森委員 ■■■は、生徒の主体的な活動を誘導している。どのように表現していくのか、どの視点で題材を見ていけばよいか、生徒の気持ちになって誘導してある。

松村教育長 意見のとおり、書いてみようと思いが高まる書き方になっている。

井岡委員 写真等でいえばあまり差はないが、紙質で差が出ている。■■■が工夫されている。ゲルニカに興味があり比較したが、■■■は写真だけでなく、関連したものも載せており、子どもたちがいろいろな知識を身に付けることができるようになっている。工作についても道具の扱い方も含め、子どもたちが興味関心からやってみようと思える工夫がされている。

深水委員 どれもきれいでよく、特に見開きが良い。■■■は見開きを折ってみると屏風のように見える工夫がされている部分が良いが、トータル的に見ると、■■■が一步リードしている。

藤井委員 先生が主導で授業を進めるのであればどの教科書でもよいのではないかと思うが、説明であったように生徒主体で進めるのはやはり■■■が良いと感じた。

松村教育長 子どもたちの学習を主体的に進めることや、作品の見え方など工夫があったのは■■■ということだが、美術については意見のとおり■■■でよいか。

委員一同 —承認—

松村教育長 それでは、保健体育についての説明をお願いします。

選定委員 —保健体育についての説明—

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

井岡委員 ■■■について2点ある。1点目は、1時間の流れが明確である。2点目は、小学校で学習したこと、今後高校で学習することが記されておりよい。他のことについては、大差なく4社とも資料等しっかりしている。

松村教育長 LGBTとか性的マイノリティについての記述があるのはどこか。

選定委員 ■■■と■■■にある。

深水委員 性感染症について、■■■には、相手を思う気持ちが大切であることの記述があり良い。また、■■■は「相手も一緒に治療を受けましょう」と書かれ

ており、相手という概念、パートナーという概念があるのはよい。

小根森委員 ■■■ は、説明であったように、考える、調べるなど学習の道筋がしっかり示されており良い。

松村教育長 内容面、学習の視点が明確である点など、議論した結果、保健体育は■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、技術についての説明をお願いします。

選定委員 ー技術についての説明ー

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

深水委員 プログラミング学習を見た。■■■が若干高度な感じがする。■■■の方が簡単に感じた。■■■については、229ページのようにいきなりHTMLが出てきて、これは唐突すぎると感じた。また、■■■は木工の作図がたくさん載っているのがよい。

小根森委員 ■■■の右上のばらばら漫画が良い。子どもにとってのちょっとした息抜きにもなり喜ぶのではないかと思う。

井岡委員 それぞれの単元の最後にいろいろな自己評価がある。チェック式やABCがあるが、■■■が中学生らしい。

松村教育長 いろいろな意見、気づきを整理して、技術は■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、家庭科についての説明をお願いします。

選定委員 ー家庭科についての説明ー

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

深水委員 ■■■はレシピの数が多くてよい。また、■■■だけ3枚おろしが載っていておもしろい。

小根森委員 ■■■には、手計（てばかり）について載っており、他社とは違い面白い工夫点だと思う。

藤井委員 ■■■の調理実習の流れの記述が良い。調理実習の工程が左から右に書かれているのは、ごく自然の様ではあるが重要であるという話を聞いたことがある。授業を進める側からも受ける側からも見方の視点で、とても分かりやすいと思う。

松村教育長 見方や使いやすさなどいろいろな意見が出たが家庭科は■■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、英語についての説明をお願いします。

選定委員 ー英語についての説明ー

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

深水委員 説明のとおり小学校との連携は大切である。小学校との連携の視点から見ると■■■■が良い。ただ、リスニング中心のように思え、その部分がしんどく感じる子どももいるのではないかと思う。また、3年生の長文について、もう少し子どもたちの興味をひくものにするのが良いのではないかと思う。全体的に思うのが、文法が少ないのではないかと感じた。また、インターネットを活用したものがもっとあればよいと感じた。

小根森委員 ■■■■の文法の説明が良い。とても分かりやすく作られている。色づかいがマイルドでよい。単語がグループ分けされて出てくるのでよい。覚えやすい工夫がされているように思える。また、1年生のところで文字と発音の関係がしっかり書かれているのでよい。

井岡委員 年間を通して Let's talk があり日常的な視点で作られていてよいと思う。

藤井委員 ■■■■は、1年間を通しての話となっており学習しやすく工夫されている。英語が苦手な子が出ないような工夫がされているものがよいと感じる。

松村教育長 意見から出たように文法や様々な場面を押さえながら指導していくという点で、英語は■■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、特別の教科道徳についての説明をお願いします。

選定委員 ー特別の教科道徳についての説明ー

松村教育長 それでは、意見や質問はあるか。

松村教育長 説明にもあったが、今の教科書はどこもいじめ問題を取り上げている。3年生については、どこも同じような題材が使われている。やはりよい題材は、どの教科書会社でも使われている。

小根森委員 ■■■■は、今も使っているか。

選定委員 使っている。

小根森委員 ■■■■の道徳ノートは、今回は自由度が増しているなので、使いやすいものに

なっている。また、内容も身近なもので、考えやすくていいと思う。

井岡委員 ■■■は、道徳ノートが使いやすい。他の会社は、ノートはあるが難しいように感じる。

藤井委員 ノートの価値を見い出すためにもしっかり活用してほしい。インプットも大切だが、このようなノートを使ってしっかりとアウトプットできるようになってほしいと思う。

松村教育長 道徳ノートについては賛否あるが、質問事項が書かれておらず自由度が増したのではないかと思う。子どもたちの実態に合わせた使い方が期待できる。道徳ノートの使いやすさが評価され、内容的な部分での評価をされたという点から、特別の教科道徳は■■■でよいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 以上で、議案第24号を終了する。

教育委員会事務局付課長 それでは、採択結果の確認をする。

国語：三省堂，書写：光村，

社会（地理的分野）：帝国，社会（歴史的分野）：帝国，

社会（公民的分野）：帝国，地図：帝国，

数学：東書，理科：啓林館，音楽（一般）：教芸，音楽（器楽）：教芸

美術：光村，保健体育：学研，

技術・家庭（技術分野）開隆堂，技術・家庭（家庭分野）開隆堂

英語：光村，特別の教科道徳：日文

議案第25号 令和3年度使用特別支援学級の教科用図書の採択について

（個人情報を含む案件のため非公開）

松村教育長 これをもって本日の会議を終了する。